

第43回 Suzuka Voice FM 番組審議会 議事録

審議会開催日時 平成29年 3月27日(月) 16時00分～17時00分

開催場所 Suzuka Voice FM 会議室

事務局：益川英明 (Suzuka Voice FM)

出席者：(敬称略) 山崎昭 長橋裕子 亀井秀樹 玉川登美男

欠席者：(敬称略) 西山哲也 長谷川啓志 市野聖治

放送事業者側出席者：益川英明

委員長：山崎昭

委員総数7名

出席委員数：4名

■番組名 「三重バイオレット ハンドボールガールズ」

鈴鹿市を拠点に活動する、女子ハンドボールチーム「三重バイオレットアイリス」がお送りするスポーツバラエティ番組です。試合の情報に加えて、ハンドボール豆知識や選手たちの素顔が覗く一面も楽しい30分です。

～番組内容を音源で検聴～

委員長： それでは、ご意見を伺います。

委員： 4人で和気あいあいと話すのが良かったのか、2人で話す形式が良いのか？
「番組内で何を訴えるか？」「具体的な試合の中でどこに感動したのか？」など。
途中で涙ぐむシーンはあったが、それをもっと上手く表現できないかと思った。
日本語が乱れているのが少し気になった。

委員： 全然興味の無い人が聴いても面白いのか？を考えてしまう。
ファンのための番組ではあるが、ハンドボールを知らない人にも聞いてもらえるような工夫が必要かと思う。
最初のフリートークが長く感じたし、内輪の話は、もう少し短いほうが良いと感じた。推しメンのコーナーのような感じが良い。

委員： 三重バイオレットアイリス、と言われてもわからない人も多い。冒頭1分だけでもハンドボールやチームの紹介を入れてはどうか？

事務局： 紹介を入れるとしたら、ナレーションで入れるか、選手が紹介するほうが良いか、どちらが良いと思いますか？

委員： ナレーションで出したほうが良いのでは？ただ、流れの中で、途切れるような感じになってはいけないと思う。

事務局： ラジオ局側で原稿を用意するのが良いですか？

委員： 今のチーム状況も含めて冒頭に伝えるか？

「何を訴えたいか？」までを選手に任せると、平坦な流れになってしまうのでは？
ある程度のポイントは、ラジオ局側が指示したほうが良いのでは？

事務局： バイオレットに関しては、試合後に結果のみを収録に来てくれたりしています。
それを番組に差し込んで、最新の情報を放送出来るようにしています。

委員： 日本の最高リーグのチームが、鈴鹿にあるという認識があまり無いことが歯がゆい。
スポーツに関心の無い人がいかに聞いてくれるかが課題だと思う。

委員： 番組の内容は選手に任せているのですか？

事務局： ラジオ局側から「こうしませんか？」という提案は、あまりしていませんね。
そういった提案が必要な時期かなとは感じています。
貴重なご意見ありがとうございました。

以上